

それは本当にエコ？

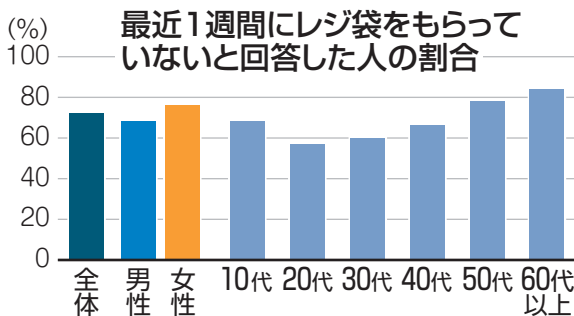
ものでも、使い方などによって、むしろ環境に良くない場合もあります。身の回りにあるものがエコなのかどうか、あらためて考えてみませんか。(河郷丈史)

「エコ」なものといえば？ 繰り返し使えるエコバッグ(マイバッグ)や、排ガスを出さないエコカーなどを思い浮かべる人も多いでしょう。ただ、エコと呼ばれる

「エコ」という言葉はもととも、生物と環境の関わりを研究する「生態学」を意味する英語「ecology」の略語。現在は「環境に優しい」という意味で使われることが多い。特に最近、プラスチック製のレジ袋などの代わりとして、利用が広まっているのがマイバッグだ。環境省が昨年十一月、二千人にインターネットで聞いたところ、「買い物をした店でレジ袋を一週間もらっていない」と答えた人は71・9%で、同三月に調査した時の30・4%から大幅に増えた。海を汚染するプラスチックごみの問題に関心がある人も八割に上った。同省は「レジ袋をきっかけにプラスチック問題を考えてほしい」と期待する。

◆ 自然で分解されるプラ

◆ 利用広がるマイバッグ



※10〜70代の2100人を対象とした環境省の昨年11月のネット調査から

ごみへの意識減るかも

「一見、環境に良さそうでも、それを作るところから使った処分するまでの全体で考えるとマイナスの影響が出ることもある。「環境問題は『玉突き』なんで

恐れもある」。細田さんは「良いことず

袋よりも環境に負荷をかけることが示された。

されるプラスチックが普及したら、「それなら捨てても大丈夫」と、人々の意識や行動を後退させてしまう

「しかし、マイバッグそのものが環境に必ず良いかというところも限らない。プラスチックの有効利用などを研究する一般社団法人プラスチック循環利用

でも、今までレジ袋で代用していたごみ袋を別に買えば、結果としてごみは減らない。食品の鮮度を長く保つなど、プラスチック製の容器包装を効果的に使うことで、食品ロスが減るかもしれない。自然の中で分解

協会(東京)は「マイバッグでもレジ袋でも、使い方がよければ環境に悪い場合がある」と指摘している。

す」と、環境経済学が専門の中部大教授の細田衛士さん(66)は言う。

CO₂排出レジ袋の50倍

くめのものはなく、逆に悪いことばかりのものもあまりない。エコと決めつけず、エコかな?と常に疑問を持ち続けることが大事」と話す。

皆さんはどんなエコなことをしていますか。右面の「環境視点」の記事も参考にして意見を送ってください。紙面で紹介したお子さんの中から抽選で図書カードをプレゼント。応募は〒460 8511 中日新聞(東京新聞)

皆さんの意見を送ってください

生活部「学ぶ」係=ファクス052(222)5284、メール=seikatu@chunichi.co.jp=へ。QRコードから、ワークシート兼応募用紙もダウンロードできます。22日締め切り。

